

3月定例会

総括質疑

令和3年度一般会計予算など

コロナ禍への対応と新

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を解明するために行われます。



現代アート作品を展示予定の「ライオン像のある館」（上越市文化財 旧直江津銀行）

（仮称）直江津アートプロジェクト事業
交流人口の拡大による自立したまちづくりを



直江津地区のまちの活性化と交流人口の拡大を目指す、水族博物館うみがたりや商業施設、商店街等と連動した新たな賑わいづくりを図るため、関係機関や市民団体等で組織する実行委員会による、現代アートを題材とした「（仮称）直江津アートプロジェクト事業」の取組を支援します。

問／この事業を契機に、どのような交流人口の拡大による自立したまちをつくっていくのか。

答／現代アートの作家が制作する作品を、直江津の歴史や文化、風土を感じられる海や公園、ライオン像のある館、商店街などの地域固有の拠点に展示すると

もに、若者や子育て世代が多く訪れる水族博物館うみがたりや無印良品といった集客施設、さらには地元の方々と連携し、地域の様々な魅力を発信する中で、市内外から訪れた方々に、興味、関心を持ってまちを巡っていただくよう、知恵と工夫をこらした取組を検討していく。さらに、同時に開催される「越後妻有アートトリエンナーレ・大地の芸術祭」とも連携し、イベントのPRや情報発信のほか、ほくほく線を活用した双方の送客の取組などを通じて、広域的な集客を図る。